

52 浜通り地方における土地利用型野菜の経済性

福島県農業試験場経営部・平成12年度農業試験場試験成績概要

- 1 部門名 農業経営－農業経営－農業生産構造 分類コード 15－01－61595672
2 担当者 岡本和夫
3 要 旨

浜通り地方で栽培されている土地利用型野菜のうち、ヘイオーツ+秋冬ダイコン、バレイショ+秋冬ダイコン及びウドについて、大規模生産農家での生産費用等を調査し、その経済性を検討した。

(1) ヘイオーツ+秋冬ダイコンの栽培体系は、秋冬ダイコン収量6,910kg/10a、粗収益545,199円/10a、費用計49,934円/10a、所得495,265円/10aと試算された。なお、ヘイオーツ+秋冬ダイコン栽培体系での労働時間は22.5時間/10aであった。

(2) バレイショ+秋冬ダイコンの栽培体系は、バレイショ収量1,970kg/10a、秋冬ダイコン収量4,890kg/10a、粗収益597,202円/10a、費用計163,817円/10a、所得433,385円/10aと試算された。なお、バレイショ+秋冬ダイコンの栽培体系での労働時間は、81.8時間/10aであった。

(3) ウドの栽培体系は、収量640kg/10a、粗収益377,728円/10a、費用計226,099円/10a、所得151,629円/10aと試算された。なお、ウドの労働時間は、70.0時間/10aであった。収穫調整作業の労働時間が多く、ウド栽培に係る総労働時間の61%を占めていた。

(4) 収穫物全量が東京市場に出荷されたことを想定した場合、共選費、包装資材費、市場手数料等の出荷経費を控除したときの所得は、ヘイオーツ+秋冬ダイコン202,899円/10a、バレイショ+秋冬ダイコン166,100円/10a、ウド74,684円/10aと試算された。

(5) バレイショ+秋冬ダイコンの栽培体系が、ヘイオーツ+秋冬ダイコンの栽培体系より所得が少ないのは、バレイショ後の秋冬ダイコン収量が低かったことに起因しているため、バレイショ+秋冬ダイコン体系 定着には、バレイショ後の秋冬ダイコン収量を確保する栽培技術の確立が肝要と考えられた。